平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場会社名　新電元工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6844　URL　http://www.shindengen.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 森川　雅人
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室　企画部長　(氏名) 千葉　昌治　TEL 03-3279-4431

四半期報告書提出予定日　平成24年11月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　証券アナリスト・機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	40,723	△3.7	216	△93.9	△778	―	△905	―
24年3月期第2四半期	42,277	△6.6	3,582	△16.9	2,527	△25.4	1,786	△27.8

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　△2,348百万円　(―%)　24年3月期第2四半期　196百万円　(△88.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△9.21	―
24年3月期第2四半期	16.49	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	108,870	31,524	29.0
24年3月期	111,920	34,541	30.9

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　31,524百万円　24年3月期　34,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	3.50	3.50
25年3月期	―	0.00			
25年3月期(予想)			―	3.50	3.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

上記の「配当の状況」は、普通株式に係る配当について記載しております。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,300	4.5	1,500	△70.1	△300	―	100	93.3	0.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	103,388,848 株	24年3月期	103,388,848 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	335,441 株	24年3月期	332,730 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	103,055,152 株	24年3月期2Q	103,060,910 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより記載の予想とは異なる結果となる可能性があることにご留意ください。なお、業績予想に関する事項につきましては、[添付資料]2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る１株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

A種優先株式	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期　末	合　計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	―	0.00	―	15.40	15.40
25年３月期	―	0.00			
25年３月期（予想）			―	15.40	15.40

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益及び包括利益計算書 …… 6
第２四半期連結累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（５）セグメント情報等 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などにより内需は底堅さを見せた一方で、長引く円高や株価の低迷に加え、欧州債務危機の影響を受け中国をはじめとした新興国の輸出が減少、成長鈍化が鮮明になるなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く環境は、自動車市場がエコカー補助金の効果もあり好調を持続したほか、再生可能エネルギーとして期待される太陽光発電市場の動きが活発化し始めた一方で、世界経済の低迷により家電市場や産業機器市場は低調に推移いたしました。

このようななか、当第２四半期連結累計期間の売上高は407億23百万円（前年同期比3.7%減）となりました。利益面においては減収やタイの洪水の影響も残っていることから、営業利益は２億16百万円（前年同期比93.9%減）、経常損益は７億78百万円の損失（前年同期は25億27百万円の利益）、四半期純損益は９億５百万円の損失（前年同期は17億86百万円の利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、セグメント間の取引については相殺消去して記載しております。

①デバイス事業

デバイス事業の売上高は145億57百万円（前年同期比12.0%減）、営業利益は14億７百万円（前年同期比50.2%減）となりました。

自動車市場においては、国内の補助金効果や北米での需要回復もあり小型面実装ダイオードが好調を持続いたしました。しかしながら、産業機器市場においては、中国の設備投資の減速などにより大容量の整流ダイオードが低調だったほか、家電市場においては、デジタル機器を中心にダイオードやＩＣ製品の需要が低迷し、売上高、利益とも減少いたしました。

②モジュール事業

モジュール事業の売上高は200億11百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は57百万円（前年同期比96.8%減）となりました。

高成長を持続してきたアジア二輪車市場は、金融引締め策の影響を受けたインドネシアやベトナムが減速して主力のレギュレータ需要などが減少いたしましたが、既に底打ちし緩やかに回復基調を辿っています。汎用エンジン市場では国内における電力不足への対策として発電機用インバータ需要が堅調に推移いたしました。加えて、太陽光発電向けパワーコンディショナも上半期末から計画を大幅に上回る水準で需要が増加しており、増収となりました。一方、利益面においてはタイの洪水やアジア通貨安の影響を受けるなど大幅な減益となりました。

③システム事業

システム事業の売上高は46億87百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は35百万円（前年同期は75百万円の損失）となりました。

国内通信市場は、基地局用電源需要が一巡しているものの、スマートフォンの拡大によりコアネットワークへの設備投資が活発化し、整流器需要が増加したほか、基幹系の電源需要が震災の影響を受けた前期から回復し、売上高は前年同期を上回りました。利益面は情報市場において厳しい価格競争が続いているものの、黒字を確保いたしました。

④その他

売上高は14億66百万円（前年同期比32.6%減）、営業利益は15百万円（前年同期比94.1%減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の総資産は1,088億70百万円（前期末比30億49百万円減）となりました。これは、主に受取手形及び売掛金などの短期債権が減少したことなどによるものであります。

また、負債は773億46百万円（前期末比33百万円減）となりました。

純資産は315億24百万円（前期末比30億16百万円減）となり、自己資本比率は29.0%となりました。

以上の結果、１株当たり純資産は293円35銭となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年５月11日に公表いたしました平成25年３月期通期連結業績予想の数値を修正しております。詳細につきましては、本日付で公表いたしました「特別利益の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。この変更による、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常損失及び税金等調整前四半期純損失への影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,501	35,794
受取手形及び売掛金	20,549	18,503
商品及び製品	4,754	6,083
仕掛品	3,320	3,369
原材料及び貯蔵品	9,150	9,041
繰延税金資産	280	287
その他	3,117	1,772
貸倒引当金	△24	△21
流動資産合計	76,649	74,831
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,766	8,164
機械装置及び運搬具（純額）	5,656	6,498
土地	4,824	4,825
その他（純額）	2,746	2,991
有形固定資産合計	20,993	22,478
無形固定資産		
のれん	－	173
ソフトウエア	510	516
その他	190	283
無形固定資産合計	700	973
投資その他の資産		
投資有価証券	10,667	8,748
繰延税金資産	1,303	1,329
その他	1,655	558
貸倒引当金	△49	△50
投資その他の資産合計	13,577	10,586
固定資産合計	35,271	34,039
資産合計	111,920	108,870

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,902	15,703
短期借入金	4,787	5,420
1年内償還予定の社債	5,400	400
繰延税金負債	3	3
賞与引当金	716	700
資産除去債務	－	2
その他	4,549	6,833
流動負債合計	33,360	29,064
固定負債		
社債	6,600	6,400
長期借入金	26,458	31,031
退職給付引当金	9,152	9,696
役員退職慰労引当金	5	5
資産除去債務	144	144
繰延税金負債	428	4
その他	1,230	997
固定負債合計	44,019	48,281
負債合計	77,379	77,346
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,823	17,823
資本剰余金	9,009	9,009
利益剰余金	9,182	7,737
自己株式	△112	△113
株主資本合計	35,902	34,457
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	713	△703
為替換算調整勘定	△2,074	△2,229
その他の包括利益累計額合計	△1,361	△2,932
純資産合計	34,541	31,524
負債純資産合計	111,920	108,870

（２）四半期連結損益及び包括利益計算書
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	42,277	40,723
売上原価	33,642	35,214
売上総利益	8,635	5,508
販売費及び一般管理費	5,052	5,292
営業利益	3,582	216
営業外収益		
受取利息	36	42
受取配当金	100	110
持分法による投資利益	62	118
受取ロイヤリティー	85	74
その他	110	178
営業外収益合計	396	525
営業外費用		
支払利息	380	392
為替差損	570	647
退職給付会計基準変更時差異の処理額	309	309
その他	191	170
営業外費用合計	1,451	1,520
経常利益又は経常損失（△）	2,527	△778
特別損失		
投資有価証券評価損	57	105
減損損失	－	6
特別損失合計	57	111
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	2,469	△889
法人税、住民税及び事業税	699	293
法人税等還付税額	－	△244
法人税等調整額	△66	△33
法人税等合計	632	15
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	1,837	△905
少数株主利益	50	－
四半期純利益又は四半期純損失（△）	1,786	△905
少数株主利益	50	－
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	1,837	△905
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,521	△1,416
為替換算調整勘定	4	48
持分法適用会社に対する持分相当額	△123	△75
その他の包括利益合計	△1,640	△1,443
四半期包括利益	196	△2,348
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	146	△2,348
少数株主に係る四半期包括利益	50	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額（注）３
	デバイス事業	モジュール事業	システム事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,537	19,133	4,432	40,103	2,174	42,277	－	42,277
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,188	29	－	2,217	－	2,217	△2,217	－
計	18,726	19,162	4,432	42,320	2,174	44,495	△2,217	42,277
セグメント利益又は損失（△）	2,825	1,807	△75	4,557	252	4,809	△1,227	3,582

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソレノイド事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額△1,227百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額（注）３
	デバイス事業	モジュール事業	システム事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,557	20,011	4,687	39,257	1,466	40,723	－	40,723
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,894	34	－	1,928	－	1,928	△1,928	－
計	16,451	20,046	4,687	41,185	1,466	42,651	△1,928	40,723
セグメント利益	1,407	57	35	1,500	15	1,515	△1,298	216

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソレノイド事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△1,298百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。